



学校関係者評価結果 (2023年度)

(2024.5.31)

学校法人川原学園
東京動物専門学校

はじめに

専修学校の学校評価は、2007(平成19)年の学校教育法及び同施行規則の改正により、①自己評価の実施・結果の公表に関する義務、及び②学校関係者評価の義務・結果の公表に関する努力義務が課されています。

東京動物専門学校は、2014(平成26)年3月に文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認定を受け、毎年「学校関係者評価委員会」を開催し、その結果を本学ホームページなどに公表しております。

今後とも、学校関係者評価委員会からのご意見、ご指導を頂きながら、その評価を具体的かつ明確な目標等を設定・実行し、次に、それらを自ら評価し、社会への責任説明を果たすと共に、専門学校教育の質の向上を目指します。そこで、ここに2024年5月に開催された「学校関係者評価委員会」での評価結果を公表いたします。

学校関係者評価

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
・理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・ 保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づ けられているか	4	③	2	1

① 取り組み及び課題

東京動物専門学校は、1987年の開校以来「心・知・技・体」であり、保護者アンケートの結果からも高い支持を得ており、継続する。動物飼育管理技術者の養成に特化した専門学校で、卒業生の就職先は動物園・水族館、観光牧場、畜産、愛玩動物等、動物関連で業種は幅広い。開校以来35年が経過し、2020年1月の新型コロナウイルス感染症発症以来その対策に追われたが、昨年5月の5類移行に伴い、教育活動への影響は激減した。動物飼育に関する基本姿勢は維持しつつ、学校の理念・目的等は現状のままとする。

② 今後の改善方策

就職先が様々な業種であり、飼育対象とする動物、飼養目的等も多岐であるが、専門学校の特色である即戦力となる人材育成を目指すカリキュラムを実施する。動物園・水族館への関心はあるものの、最近の園館を全く見ていない学生も多くいる現状を踏まえ、就職への確かな動機付けのため入学早々の1年生を対象に、動物園・水族館を専門家と共に見学する特別授業も9年目を迎え、コロナの3年間は、見学施設の変更を余儀なくされたが、現在は、当初の都内3施設見学を継続実施している。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

動物飼育管理技術者を養成し、動物園・水族館への就職の夢をもって入学してきた学生にその夢を実現できるような教育を望む。現状の在校生はコロナを高校時代に経験した世代です。共同作業などの経験が少なく、なにかと協調性などにも欠けるところがあるかと思いますが、しっかりとした社会人として活動できるよう指導をお願いしたい。

(2) 学校運営

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

① 取り組み及び課題

学校の校訓・目的にそって毎年事業計画を策定し、年度毎の運営方針も明記し、教職員に周知徹底を計っている。また毎年3月には講師会を開催し、運営方針等を説明し、関係者一体となつての運営を図っている。情報公開は、学校基本情報、自己評価等も学校HPで公開しており、適切である。またITの進展に伴う、業務の簡素化・効率化はまだまだ改善の余地があり、今後の課題ではある。また、学校案内の冊子「まるで動物園のような学校!」も毎年改定し、現代の若者に興味を持ってもらえるよう工夫している。

② 今後の改善方策

情報公開に関しては、HPを活用して実施しているものの、迅速な更新に努める。学校案内冊子も作成しているが、ペーパーレス化社会に対応し、情報発信方法を検討する。また学生数の増加に対応した人材等は補強しているが、学生課職員についての業務分掌を整理し、効率化に努める一方、職員のレベルアップも図る。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

保護者へのアンケートで毎年「学校は保護者の要望に良く応えている」かの質問で、他の質問項目と比べてやや厳しい評価を受けているため、保護者の要望についての状況認識が必ずしも、十分ではないのかな、と思われるので、この要望について、具体的な内容の把握に努めてもらいたい。

(3) 教育活動

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に	④	3	2	1
・飼育実習を指導できる職員は、配置されているか	④	3	2	1
・基礎学力習得への対策がなされているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

2013年度より学生及び保護者アンケートを実施しており、その結果を講師等にフィードバックし、講義内容や授業の改善、更に、施設等に関する不満等の解消に努めている。特に近年基礎学力が不十分な学生も見受けられ、講師と教職員が一体となり対策をとっている。講師には問題のある学生の掘り起こしをお願いし、教職員が補講等の対策をとり、特に基礎学力習得及び学力向上に努めている。

② 今後の改善方策

学習の基本となる基礎知識やノートの取り方などを授業にて実践しており、その成果は徐々に出ている。今後は基礎学力の習得であるが、学習内容をどのレベルで実施するか、学力差の大きな専門学校ならではの課題でもあり、講師の方々とも打ち合わせ、実践する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

コロナも収まり、それぞれの学生が希望する職種に就職できるような指導を願いたい。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1
・当世の学生特性を捉えて指導をおこなっているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

コロナ禍での厳しい就職活動ではあるが、今年度の就職率もほぼ100%であり、動物園・水族館には47名(46.5%)が就職できた。今後とも動物園・水族館を希望する学生への指導を徹底する。2023年度入学生の1年間の退学者は10名で、前年の16名と比し減少はしているが、この10%超は、少なくはなく、退学者ゼロを目指した学生の指導に努める。

② 今後の改善方策

就職率は100%だが、少しでも希望の就職先に合格できるよう指導を徹底する。また動物関連施設の紹介を積極的に行い、動物園や水族館以外への就職誘導を図る。特に酪農・畜産は従来の経営方法とは格段と進化した施設もみられるようになり、そのような施設への実習研修を進める。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

専門学校に入学してくる目的は、希望する職業への近道だと理解しております。動物園・水族館への就職は厳しさを増しておりますが、その目標達成への教育活動の展開を望みます。

(5) 学生支援

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・学生の生活環境への支援行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・学校窓口や電話での対応は、適切に行われているか	4	③	2	1
・キャンパスハラスメントへの対応は行われているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

高校時代にコロナを経験した学生が入学している、そのためか、積極的な活動や協調性などに従来では見られない特性が見られる場があり、侮れない課題と思われる。

専門学校としては、まずは希望する職種への就職指導であり、入学と同時に開始し、全体指導、就職窓口での個別指導、施設研修と段階をおい、徹底的に学生の就職を支援する体制を組んでいる。コロナ対応で振り回されており、学生への連絡事項は増大しそのタイミング等で課題は残った。

② 今後の改善方策

入学してくる学生の特性を捉えながら、学生指導にあたる。特に学力向上が就職には欠かすことが出来ないので、基礎的な学習を習得したうえで、飼育専門教育につなげる。また高校校長を経験した職員が進路指導などにもあたる。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

各種アンケートによる意見・要望等について、迅速に対応できるよう願いたい。

(6) 教育環境

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備やIT教材は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ等について十分教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・危機管理マニュアルは整備されているか	4	③	2	1
・危機管理対応の備品などは整備されているか	4	③	2	1
・飼育実習に対応する動物として、種類・頭羽数は確保しているか	④	3	2	1

① 取り組みと課題

八千代キャンパスで2つの教室に大型モニターは設置完了したが、残るは富里キャンパスの講義室です。快適な講義を受けられる体制は徐々に進展している。また哺乳類から魚類まで動物園等で飼育されている大小様々な223種1349頭羽の動物を飼育し、実習に供している。実習体制について学生の要望を聞き、また最新の飼育技術や知識を取り入れる。

② 今後の改善方策

設備のより一層の改善を図り、快適な講義が受講できるようにする。
飼育実習では、動物の種類、飼育数は問題ないが、実習体制の見直し、改善は必要である。
様々な飼育管理者の育成を目指す職業実践課程に相応しい内容とする。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

経年劣化による施設の改修について、適切な対応を願いたい。また実習場設備の改善や飼育用具の更新などをお願いします。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動及び入学選考は適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・インターネット上での学校案内のHP更新は適宜行われているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

学生募集活動は、インターネットでの学校案内、募集重要事項等の掲載など情報提供ならびに職員が高校に出向き学生への説明や案内を行っている。また学校説明会、授業見学体験入学及び施設見学のオープンキャンパスを、コロナが収束した現在、回数を増やしての実施を検討する。課題として、富里施設への公共アクセスが充分でないので、成田駅よりバスで送迎しているが、経費や時間などに、やや課題があることである。

② 今後の改善方策

富里実習施設見学にて十分な事前体験が施設的には可能だが、アクセスの改善が必要。コロナ禍で入学者が減少しているが、中期的にも学生の受け入れ確保の保証はない。「職業実践専門課程」認定の専門学校として認知され、更なる差別化による優位性の確保など、高校への浸透策が課題。開校以来34年間に全国各地の動物園・水族館で卒業生が活躍しており、その実績により学校の伝統なるものができつつあり、今後更なる伝統を延ばす活躍を継続する。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

入学者が全国から応募してくるような魅力ある専門学校となるよう希望します。そうなれば結果的には定員を確保できると思います。

(8) 財務

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

① 取り組みと課題

このところ定員をわる入学者数で、基幹収入の主たる納付金である帰属収入に厳しさがある財務状況となっている。緊急的な設備改善等の投資は実施済で、当面は必要がない。会計等の処理については、会計士等の専門家による指導、監査にて適正に処理している。

② 今後の改善方策

中長期では少子化により学生数確保は、ますます困難となる。入学者数確保に全力にて努める一方、経費の節約を徹底し、財務の安定を図る。
動物関連業種の今後の動向を見定め、それにあった教育内容の変更を検討し、就職に有利となる専門学校を目指す。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

安定的な財務運営を図りながらも、施設の充実を願いたい。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 取り組みと課題

2023年度は教育課程編成委員会及び学校関係者評価委員会を5月・12月に開催し、活発な意見や積極的な改善指導を頂いた。

② 今後の改善方策

保護者アンケートや学生アンケート結果を踏まえ、具体的に問題点を掘り起こし、改善の方策を検討し、実施に移す。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

2022年4月より成人年齢引き下げられました。当然殆どの学生が成人扱いとなり、保護者の承諾なくして学生の意思にて決定されます。この1年大きなトラブルは発生していませんが、保護者との意思疎通を図りながらも、個人情報の保護対策もよろしく願います。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 ② 1

① 取り組みと課題

コロナが一応収束し、9月に3日間、学校祭を八千代キャンパスでコロナ以前の体制で開催しました。多くの地域住民の参加もありました。今後も継続的に実施運営する予定です。またボランティア活動は、6月谷津干潟観察センターで清掃業務を希望者のみでしたが、実施しました。コロナが収まり、ボランティア活動の場も拡大すると思います。

② 今後の改善方策

次期以降も卒業生や家族はもちろんのこと、八千代の地域住民の方々も楽しめる学校祭を実施する予定です。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

学校祭の開催は、在校生はもちろんのこと、卒業生にとっても母校を訪れる絶好の機会です。継続的な実施をお願いします。また2023年12月に富里実習場で実施した、ホームカミングディも富里にての開催ありで、有意義なイベントです。定期的な開催を願いたい

(11) 感染症予防・健康管理対策(変更新設) ← 新型コロナウイルス感染症対策

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・本校の特殊性を理解している学校医にいつも相談しているか	④	3	2	1
・学生や教職員の健康診断等管理は十分か	④	3	2	1
・学生への感染症予防(注射)対策や教育など十分か	④	3	2	1
・手洗い場には、せっけんやペーパーの設置など十分か	4	③	2	1

① 取り組みと課題

コロナの5類移行に伴い、直接的な行政指導や勧告はなくなったが、多数の学生の集まる学校の感染症対策は、重要なことには変わりはなく、今後とも、学校医と相談しながら、破傷風の予防注射や健康管理学の授業などを通して、学生を指導する。

② 今後の改善方策

感染症予防対策の基本である、手洗い・うがい・消毒や清潔感の維持は、飼育の基本でもあり、その励行を日々の生活の中で実践できるように常に、指導する。当然のこと将来の就職先でも、実践できるようにする。

③ 学校関係者評価委員よりのご意見

今までのコロナ感染症対策について行政機関よりの協力要請に応じながら、対面授業の維持や入学式・卒業式また各種イベントの実施など、学校の積極的な対応に感謝します。コロナは収まりました。しかし油断はできません。今後とも、どうか宜しくお願いします。